

事業所名		ミライエ鎌倉				支援プログラム				作成日		2025 年		4 月		1 日					
法人（事業所）理念		1人ひとりの個性を大切に育む																			
支援方針		※ABA(応用行動分析)の手法を用いた療育プログラムを使用します ①個性を伸ばす ②社会性を育てる ③地域でサポートする						送迎実施の有無		あり なし											
営業時間		平日		13 時		00 分から		18 時		00 分まで		学校休業日		10 時		00 分から		17 時		00 分まで	
		支 援 内 容																			
本人支援	フルオーダーメイドの記録シート	お子様アセスメントを取った後、お子様の得意・不得意・現在の様子、また保護者様からの聞き取りから、療育ごとに具体的な課題を設定したフルオーダーメイドの記録シートを作成します。記録シートはお子様の様子を見て課題を更新し、新しい課題を行います。うまくいかない課題はアプローチの方法を変え、効率的にお子様の発達の促進を促します。療育はマンツーマンの個別方式を実施し、直接支援担当職員が中心となり、支援を行います。																			
	個別支援計画	児童発達支援管理責任者、直接支援担当職員、担当外の職員の複数の職員で評価を行います。 お子様1人ひとりにあったフルオーダーの記録シートを利用した療育を通し、現在の状態・状況を把握します。それだけではなく、保護者様からの聞き取り、状況に応じて学校等の関連機関との情報共有を行い、得られる情報を基にモニタリング表を作成した後、5領域に即した個別支援計画を作成します。																			
	5領域	ミライエでは個々にあわせたフルオーダーメイドの記録シートを実施しています。課題の内容は1人ひとり大きくことなるため、ここでは大まかな内容を記します。																			
	健康・生活	本人の発達段階と生活環境を把握し、健康状態の維持・改善、生活リズムや生活習慣の形成、基本的生活スキルの取得を目指します。																			
	運動・感覚	運筆、着席姿勢の安定を中心に、姿勢・運動・動作の向上を図ります。																			
	認知・行動	空間・時間・数等の概念形成の取得や、外部環境との適切な認知と行動の取得を目指します。個々の理解できる範囲・理解の方法を把握し、日常生活を営む中で、困難さが軽減されるようにします。																			
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上を目指し、言語の受容及び表出の支援を行います。療育や他者とのやり取りを通して、お子様自身がコミュニケーションの手段を選択し、活用できるようにします。																			
人間関係 社会性	直接支援担当職員を中心に、人間関係の形成を図り、自他の理解を深め、仲間づくりと集団への参加ができるように支援します。																				
家族支援		保護者が悩み等を自分だけで抱え込まないように、保護者からの相談に応じ、信頼関係を築きながら、保護者の困惑や将来の不安を受け止め、専門的な助言を行います。						移行支援		障害の有無にかかわらず、全ての子どもが共に成長できるよう、可能な限り、地域の保育、教育等の支援を受けられるようにし、かつ同年代の子どもとの仲間作りを図ります。											
地域支援・地域連携		障害があるがゆえに子どもの社会生活や経験の範囲が制限されてしまわないように、子どもの社会経験の幅を広げてます。他の社会福祉事業や地域において放課後等に行われている多様な学習・体験・交流活動等との連携、ボランティアの受入れ等により、積極的に地域との交流を図っていきます。						職員の質の向上		療育委員会を中心に研修の予定を立て、支援に活かせる外部研修を受講し、ミライエ内のスタッフ全体へフィードバックをします。 また、会社全体でもコンプライアンス研修やメンタルヘルス研修等を実施しています。											
主な行事等		・他のミライエとの交流を通じて、人間関係や社会性の幅を広げます。 ・長期休暇等に、外出学習を通し公共交通機関でのルールやマナー、紙幣のやり取り、ICカードの使用方法等の実践的な体験を通して、学習する機会を設けます。																			